

東通小学校5年生 ～東通村の水産業について～

11月8日、尻屋漁業協同組合・下北地方水産事務所の協力のもと水産教室が開かれ、東通小学校5年生が東通科の一環で尻屋漁港を訪れました。

最初に、下北地方水産事務所の黄金崎水産普及員から魚の生態についての説明のあと、キツネメバル（マゾイ）の標識付けとして、ヒレカットを行いました。標識付けを行った後は「大きくなって帰って来てね～」と言いながら海に向かって放流していました。

また、“だし昆布”のグラム計量を体験し、既定の15グラムを目指し悪戦苦闘していました。



キツネメバルの標識付けの説明を受ける様子 「ヒレカットむずかしい～！」



大きくなって帰って来てね～！



“だしこんぶ”のグラム計量体験

東通小学校4年生 ～村の『食文化』を知ろう！～



間近で見る牛は大きいね！！



直売所にて「牛串美味しい人～？」



キツネメバルに餌やり体験



漁港で生きたタコに触れました♪

11月9日、東通小学校4年生が、東通科の授業の一環で、村営第2牧場や野牛川レストハウス、生産物等直売所、尻屋漁港の見学をしました。

村営第2牧場では、東通牛を初めて見たという子供たちも多く「牛に愛情をもって育てていることが分かりました」と感想を述べていました。

野牛川レストハウス・生産物等直売所では、肉の加工や野菜について学び、最後に東通牛の牛串をご馳走になっていました。

尻屋漁港では、2種類のタコに触れ、見た目の違いを勉強した後、実際に試食し、味・食感での違いも感じていました。